うるま市GIGAスクール構想推進ビジョン概要版

１．目的

本ビジョンは、文部科学省が打ち出した「GIGAスクール構想」に基づき、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、個別最適化された学びを実現するため、令和２年度以降のＩＣＴを活用した教育の推進の実現に向け、教育委員会及び市内の市立小中学校が学校教育における情報化の基本的な考え方と進めるべき方向性について共通のビジョンを持ち、より効果的なＩＣＴ環境の整備と活用方法を模索しながら、教育の質の向上につなげることにより、これからの「時代を切り拓くこども」を育成することを目的として策定するものです。

※GIGAスクールの「GIGA」とは、データの大きさを表すギガバイトの「ギガ」ではなく、「Global and Innovation Gateway for All」の頭文字を取ったものです。直訳すると「全ての人にグローバルで革新的な入口を」となり、令和元年に文部科学省が提唱した学校教育におけるICT環境整備に関する構想です。

２．教育の情報化をめぐる状況

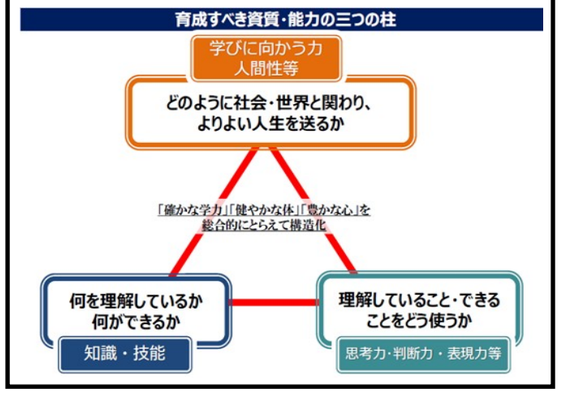
・第３期教育振興基本計画

今後の社会においては，長寿化に伴う「人生１００年時代」の到来への対応と超スマート社会（Society ５．０）の実現が特に重要なテーマとなり、加えて、ＡＩなどの新しいイノベーションの登場は全く新しい価値を創出し、「革命的」に生産性を押し上げる大きな可能性を秘めるものであり、政府において「生産性革命」を世界に先駆けて実現することを目指した取り組みを進めている。

教育政策として、これらにどう関わり、貢献していくかが今まさに問われている。

・新学習指導要領

新学習指導要領では、情報活用能力が言語能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられるとともに、複雑化・多様化した現代社会を生きる児童生徒の確かな学力を育むため、学校教育において重視すべき資質・能力を次のように整理している。



これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す。

これまでの教育実践の蓄積 × ICT ＝ 学習活動の一層の充実 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業

３．GIGAスクール構想による学びの変容イメージ（資料：文部科学省）

４．めざす子ども像

本市では、ICTの特徴・強みを活かし、GIGAスクール構想が目指す、多様な子ども達を誰一人取り残すことなく、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現に取り組みます。

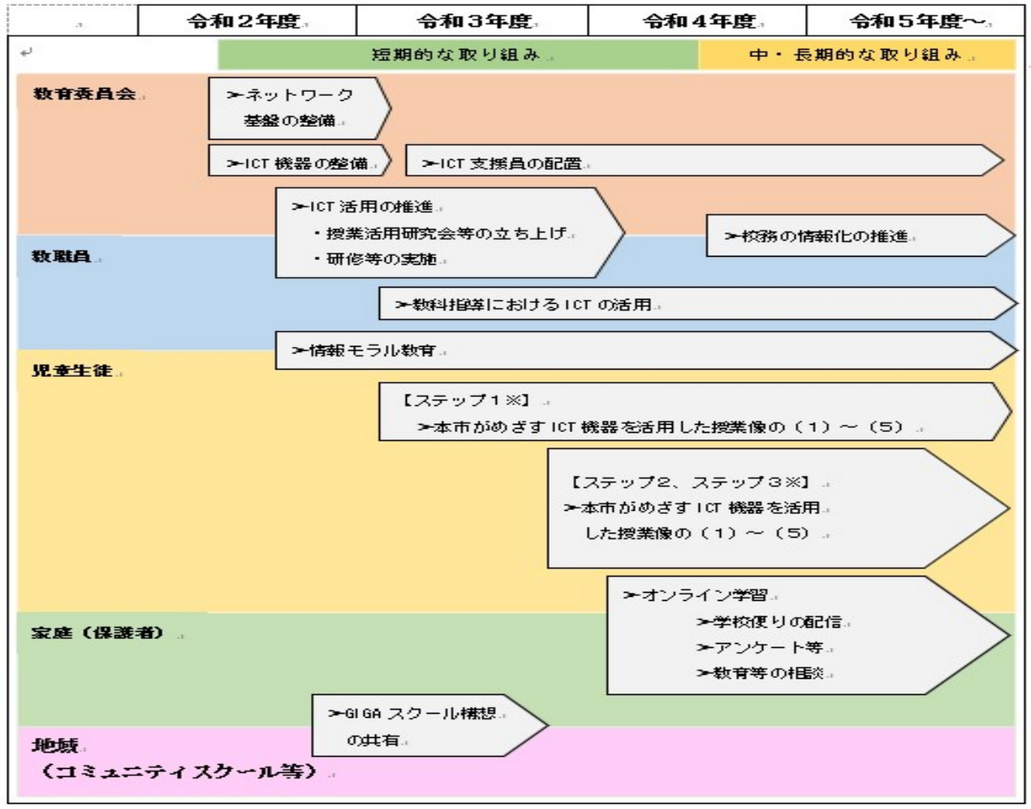
※うるま市がめざす子ども像

主体的に学び、自らの考えを伝えるとともに、他者の考えを理解し、
多様な人々と協働して新たな価値を見出したり、問題を解決しようとする子

身に付ける資質・能力

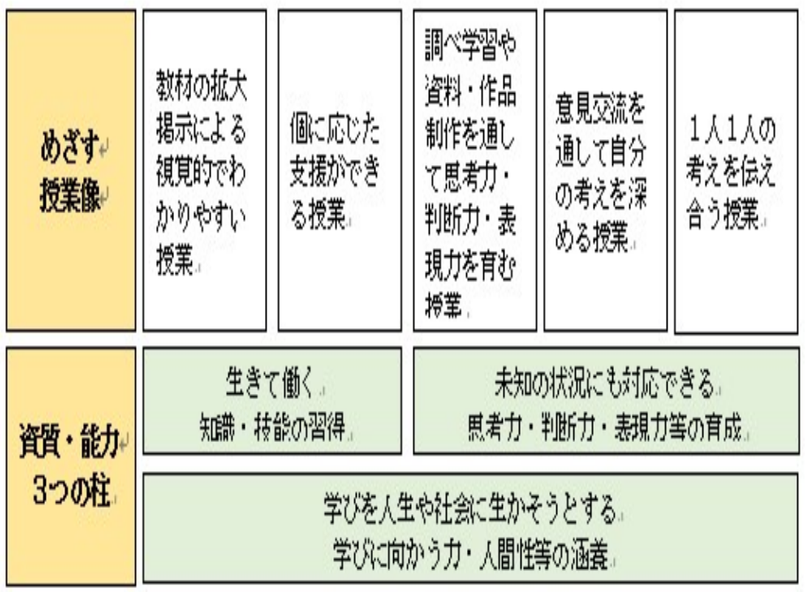
- ●情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能
- ●情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する力
- ●相手や状況に応じて情報を適切に発信したり、発信者の意図を理解する力
- ●他者との協働や複数の情報を結びつけ、新たな価値を見出したり、自分の考えを深めたりする力
- ●情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度
- ●情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度

６．整備等のスケジュール



５．本市がめざすICT機器を活用した授業像

本市では、児童生徒の学習への興味・関心を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善のため、各教科等の指導におけるICT機器の効果的な活用を推進します。



①教材の拡大掲示による視覚的でわかりやすい授業

大型提示装置（電子黒板）を利用して、教科書やプリント、画像・動画などの教材を拡大提示することによって、学習内容を視覚的にわかりやすく伝え、知識の定着や技能の習熟を図る。また、授業の導入で拡大提示によってわかりやすく説明することで、学習課題をより明確に伝えることができ、学習活動を充実させる。

②個に応じた支援ができる授業

児童生徒が、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるよう、学習アプリ等を利用し、１人１人の習熟の程度や発達の段階等に応じた個別学習を行う。また、自分のペースで学習したり、不得意な分野を重点的に復習したりすることで、主体的に学習に取り組む態度を養います。

③調べ学習や資料・作品制作を通して思考力・判断力・表現力を育む授業

各教科の学習内容をより深く理解するために、インターネット等を通じて、詳細なデータや写真・動画等の情報を収集し、収集した情報から学習課題の解決に必要な情報を取捨選択する過程の中で、思考力・判断力・表現力等を育む。また、収集した情報を基に、児童生徒１人１台端末を用いて調査結果を表や図に整理したり、調査結果に対する自分の考えを文章にまとめたりする学習活動を通じて、学習内容の理解を深める。

④意見交流を通して自分の考えを深める授業

グループなどでの意見交流の際、児童生徒１人１台端末を用いることで視覚的に互いの考えを共有することができ、グループ内の議論を活発化させる。また、共通の学習課題について、他者の考えに触れることで自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。これにより、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得や思考力・判断力・表現力等の向上を図る。

⑤１人１人の考えを伝え合う授業

児童生徒が、調べたり、考えたり、話し合ったりして、まとめたものをわかりやすく提示し、活発な話し合いを実現する。また、クラスやグループに自分の考えを伝えるために、児童生徒１人１人が学習課題に対して主体的に考え、他者からの意見を踏まえて資料や作品を見直すことで、多角的な見方・考え方を身に付けることができる。こういった一連の学習活動を通して、表現力やコミュニケーション能力の向上を図る。